

社会科 第1学年

【教科の目標】

○歴史的分野

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

○地理的分野

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学習活動
1	4	《地理》 第1部	<ul style="list-style-type: none"> ・地球表面の様子を地球儀や世界地図を活用して捉え、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係を捉える技能や知識を身に付ける。 ・世界地図や日本地図を活用し、世界の地域区分や日本の位置、都道府県をとらえられるようにする。 ・世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。 ・中学校の歴史学習の導入として、小学校で学習した内容が活用できる活動を通し、時代区分を理解して、歴史を学ぶ意欲を高める。 ・年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解する。 ・アフリカで誕生した人類が、環境の変化とともに進化してきたことを理解する。 ・世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家の起こりと発展などの共通する特色があることに気付く。 ・中国文明が日本に与えた影響や、漢の時代の中国と周辺諸国との関係について理解する。 ・仏教、キリスト教、イスラム教などの起こった地域が、それぞれインドや西アジアなどの世界の文明地域と重なることに気付く。 ・日本の豊かな自然環境の中において、狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などに基づく信仰が人々の中に生きていたことに気付く。 ・古墳の広まりに触れながら、ヤマト王権による国内の統一について大きく捉え、東アジアとの関わりについては、大陸から移住してきた人々の我が国の社会に果たした役割に気付く。 ・世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基にしたテーマを設定して地域的特色を理解する。
	5	○世界の姿 ○日本の姿 ○人々の生活と環境	
	6	《歴史》 第1部 ○歴史のとらえ方と調べ方	
	7	第2部 ○人類の登場から文明の発生へ	
	8	○東アジアの中の倭（日本）	
	9	《地理》 第1部 ○世界の諸地域 1節 アジア州 2節 ヨーロッパ州	

2	1 0	3 節 アフリカ州	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基にしたテーマを設定して地域的特色を理解する。
	1 1	≪歴史≫ 第2部 ○中国にならった国家づくり ○展開する天皇・貴族の政治 ○武家政権の成長と東アジア ○武士の世の始まり ○武家政権の内と外	<ul style="list-style-type: none"> 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられたことを、聖徳太子の政治や大化の改新など、律令国家の確立に至るまでの過程を通して理解する。 大陸からもたらされた仏教が我が国の文化の様々な面に影響を及ぼしたことに気付き、国際的な要素を持った文化が栄えたことを理解する。 古事記・日本書紀などにまとめられた神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などを捉える。 天皇や貴族の政治の展開を、摂関政治などを通して理解する。 摂関政治を通して貴族の政治の特色を捉える。 日本独自の仮名文化が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気付き、文化の国風化が進んだことを理解する。 武士が台頭し、主従の結びつきや武力を背景にして東国に武家政権が成立したことなど、古代から中世への転換のようすを古代の天皇や貴族の政治との違いに着目し、自分の言葉で表現できるようにする。 蒙古襲来(元寇)、日明貿易、琉球の国際的な役割などを通して、東アジア世界との密接な関わりやそれが国内に及ぼした影響などに気付く。
	1 2	○人々の結びつきが強まる社会 ○武家政権の展開と世界の動き ≪地理≫ ○世界の諸地域 4 節 北アメリカ州 5 節 南アメリカ州 6 節 オセアニア州 ≪歴史≫ ○武家政権の展開と世界の動き ○大航海によって結びつく世界 ○戦乱から全国統一へ	<ul style="list-style-type: none"> 農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が当時の社会の大きな変化であることに着目し、生活の向上と経済が活性化したことに気づく。 世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基にしたテーマを設定して地域的特色を理解する。 ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにともなって、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を与えたことを理解する。

【評価の内容(手だて)】

(1)主体的に学習に取り組む態度

社会的事象について国家及び社会の担い手としてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

(2)思考・判断・表現

社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考え、公正に判断できているかどうかを、テストやワークシートなどで評価します。

(3)知識・技能

地理や歴史の社会的事象・課題に関するさまざまな統計や表、分布図などの資料から社会的事象の特色や変化を読み取れるかどうか、そこから導かれる結論を正しく出せるかどうかを、テストやワークシートなどで評価します。

社会的事象の意義や特色、相互の関連について、基本的な用語などの知識を身につけているかどうかを、テストやワークシートなどで評価します。

	主体的に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
定期テスト(中間・期末)		○	○
ワーク	○		
ワークシート	○	○	○
発言・授業態度	○		

【学習アドバイス】

(1)授業の準備：教科書・地図帳・資料集等、授業で使用する教材を忘れないこと。

- (2)宿題・提出物：期限を守り提出すること。予習・復習を行うこと。
- (3)授業中：① 作業学習や話し合い活動など積極的に授業に参加し、自分の考えを伝える努力をすること。
② 板書事項だけでなく、気付いたことや自分の考えをワークシートに書き込むこと。
③ 疑問点などは、そのままにせず質問すること。
- (4)ワークシート：毎時間配布するので、ファイルに挟み紛失を防ぐこと。

【使用教科書・副教材】

- ・中学生の歴史(帝国書院)・ビジュアル歴史(東京法令出版)・社会の自主学習・歴史1(新学社)
- ・中学生の地理(帝国書院)・ビジュアル地理(東京法令出版)・社会の自主学習・地理1(新学社)
- ・中学校社会科地図(帝国書院)